オアシスを知る

就労者の作品

≪狭山ステキ発見≫…健康寿命を伸ばすため体操講座を出前している『レインボークラブ』にメールが入りました。「就労施設オアシスに体操に来てください」というので早速伺いました。そこは手つかずの自然が残り吹き抜ける風のさわやかな心地よさ。すっかり感動!!

地域まるごと多彩な取り組み

◇**食工房♥ハート**（地域のコミュニティ・レストラン）

- 12:30～（月～金）…食材のこだわり（予約は前日まで変更は当日の 10 時まで）
- いっぷく亭…そば打ち教室 （地域ふれあいサロン）
- 加工部門…地域の農産物加工（ジャム、クッキー、トマトソース、乾燥野菜など）

◇**布工房（遊布）**…不要となった衣類を集めリメイクして販売

◇**農工房**…低農薬で野菜を生産・収穫されたものはヤオコーで販売

◇**生活工房**（EIZEN）…生活の困りごと、草取り・ふすま障子の張り替え 不用品のかたずけ等障害者を組み入れ対処

◇**朝市**…月 1～2回、鵜の木団地（自治会館）に食工房「ハート」布工房「遊布」が参加

NPO オアシス作業所代表 吉野房子さんをインタビュー

ボランティアは
親から受け継いだ
DNA です

集団回収の補助金を積み立てて
建てた感動の作業所

共に支え合おう…吉野代表が、この笹井に持っていた農作業小屋に、「6 人の利用者さんから始めたオアシス作業所」。狭山元気大学コミュニティビジネスを受講し、その手法を取り入れ活動資金は自分たちの手で作りました。また、地域の支え合い、ボランティアの方々の力で、「オアシス作業所を支える会」が発足。それぞれ特色ある工房を次々と立ち上げ、それぞれ連携して、多彩な活動につなげ 13 年かかってやっとここまで来ました。

☆食工房のコミュニテイカフェは集団回収の補助金を積み立てて 7 年かかって屋根になりました。

☆災害用の井戸を掘り、電気が止まってもここでは生きられます。

☆オアシス特製、入間川のめぐみはちみつ・ママレード・イチジクのジャム等絶品です。

☆布工房の着物からのリメイクの洋服や袋物などは一度見に来てほしい。「気に入ったものがきっと見つかりますよ!」

多くの活動に関わっていると次々とアイデアが湧き、地域まるごと多彩な、衣食住に広がりました。

地域の支え合い、ボランティアの方々の支えが大きいと感じています。

オアシス感謝祭…11 月 23 日には例年盛大なおまつりが開催されます。地域に密着し 400 人以上の参加者が集まります。バザーを催し、芸達者の方々の参加が多いので、舞台を作り、足踊りなどが披露されます。

みんなみんな手をつなごう…「みんなそれぞれが違った良いものを持っています。障がいのある人もない人も一人として、いらない人はいません。その個性を出し合って、共に支え合う地域づくりが出来ることを願っています。　自分だけが良ければいいのではなく、豊かさのおすそ分けをして、みんなで助け合うコミュニティにしていきたいと思います。障がい者の施設が少ないため自立して生活できる障がい者用のグループホームが出来ると良いと思います」。

施設を地域に解放。シニア世代が
先頭に立って『ピザ窯』を手作り。